



報道関係者各位

2020年7月6日(月)
株式会社 Broncos 20

新生・さいたま Broncos、初のホームタウン活動
埼玉出身の泉選手と吉川選手、池田オーナーが所沢市役所に訪問。
ホームタウン所沢市の藤本市長に
所沢市70周年×新生 Broncos アニバーサリーシャツ贈呈！



(左から)さいたま Broncos 吉川選手、泉選手、池田オーナー、所沢市の藤本正人市長、中村俊明副市長、大岩幹夫教育長

B3 リーグに所属するさいたま Broncos は、本日、ホームタウンの一つである所沢市の藤本正人市長を訪問し、所沢市市政施行 70 周年を祝したアニバーサリーシャツを贈呈しました。

贈呈式には、所沢市の藤本正人市長、中村俊明副市長、大岩幹夫教育長、株式会社 Broncos 20 代表の池田純、さいたま Broncos 所属で埼玉県出身の泉秀岳選手、所沢にゆかりのある吉川治耀選手が出席。所沢市イメージマスコット「トコロん」と新生 Broncos のチームロゴを入れたアニバーサリーシャツを代表の池田純より手渡すと、藤本市長から「 Broncos の皆さんには地域に根差し、『コロナに負けるな！所沢元気回復プロジェクト』の一環としてこれからも頑張ってもらいたい。」と感想をいただき、池田より「所沢市発祥のプロチームとして今後はより一層地域密着を進め、所沢市のなかに Broncos が存在し続け、所沢市と共に成長していきたい。」と、今後の抱負を語りました。藤本市長からは、「今後も連携してスポーツを、所沢を盛り上げていってほしい」と、さらなる相互連携の期待を語りました。

さいたま Broncos は 2020 年 3 月 7 日より池田純がオーナー兼取締役役に就任し、クラブの経営を刷新。6 年スパンでクラブとチームの成長戦略を立て、経営の健全化と、地域に愛され地域に貢献できるクラブチーム作りを目指し新たなスタートを切りました。新生 Broncos の象徴として、7 月 1 日にはチーム名やロゴ、チームカラーを刷新。クラブの活動をホームタウンの一つである所沢市から始めました。



■池田純オーナーコメント

所沢市発祥の Broncos なので、ダブルホームタウンの一つの所沢市からホームタウン活動を始めました。初めてのグッズとしてこのアニバーサリーシャツを作りました。新たなスタートを所沢市と共に切るといった意味で、ぜひ着用していただけたら嬉しいです。また、所沢の子どもたちへ、そして所沢市のバスケットボールの普及に少しでも力になればと思います。

■泉秀岳選手コメント

地元埼玉県に戻って来られて、とても嬉しい気持ちです。埼玉県はスポーツが盛んな街なので、もっとプロスポーツも盛り上げていきたいと以前から考えていたので、地域の皆さんに応援していただけるよう頑張っていきたいと思います。

■吉川治耀選手コメント

東村山市出身で、子どもの頃から所沢市で育ったようなもの。その所沢市のチームでプロバスケットボール選手になり、所沢市の皆さんに応援していただけて感謝しています。これからも応援よろしくをお願いします。

■さいたま Broncos について

前身は 1982 年創部のマツダオート東京バスケットボール部。創部 2 年目にサンタクララ大学のランダヘッドコーチから同大学のチームニックネーム“Broncos”をプレゼントされ継承する。1996 年「所沢 Broncos」としてクラブチーム化、所沢を拠点として活動するも、以後、ホームタウンを埼玉県全域に広げ、埼玉県を代表できるチームを目指し「埼玉 Broncos」と改名した。このたび 2020-2021 シーズンより、再スタートの象徴として 7 月 1 日から、「さいたま Broncos」にチーム名を変更。チームロゴも一新し、新たな船出を迎えた。オーナーは横浜 DeNA ベイスターズ初代球団社長であり、現さいたまスポーツコミッション会長の池田純。

・クラブ公式ウェブサイト：<https://broncos20.jp>

・クラブ公式 Twitter アカウント：<https://twitter.com/saitamabroncos>